

# わが家の学びの充実に向けて

～子どもの探究心を生み出すかわり～

日常の事象の中で「なぜかな?」と感じた疑問を、進んで調べたり、友達と協力したりして解決していく学習が求められており、本県では「探究型学習」と呼んで、各学校で推進しています。また、全国的な調査において、家庭学習時間がしっかり確保され、学校での出来事が話題になる家庭が多い都道府県では、子どもの学習意欲が高まるという結果がみられます。子どもの探究心と家庭学習をつなぐことを大切にいきましょう。

## 学びを「おもしろい!」「楽しい!」と言える子どもへ

### 「やるべきこと」と「やりたいこと」の両立を!

- 時間を効果的に使って学習する習慣につながります。
- 大人が新聞や本を読むなどの学ぶ姿を示すことが、子どもの主体的な学びにつながります。  
※家族と一緒に空間で学習する家庭では、子どもに家庭学習の習慣が身に付きやすい傾向にあります。

### 子どもが体験や学びを大切だと思えるようなかわりを!

- 身の回りの様々な不思議や感動に対して「なぜ?」と問うことが、深い学びにつながります。
- 体験や学びを通した子どもの成長を具体的に認めることが、自信や意欲につながります。  
【例】「できるようになるまで、よくがんばったね。」
- お手伝いなどを通した日常の体験が、生きた学びにつながります。  
【例】豆腐を等分に切ったり、牛乳を200mL測ったりする。  
雪かきを通して、気温による雪質の違いを実感したり、仕事の段取りについて考えたりする。

